

读解强化训练

N1

杨岫人 编

# 新日语能力考试 一次掌握!

- 新日语能力考试读解题型深入分析
- 翔实试题讲解直捣命题核心
- 最新题型分项练习，令您宛如置身考场
- 名师指点，助您轻松通过考试

外语教学与研究出版社

读解强化训练  
N1

杨岫人 编

# 新日语能力考试 一次掌握!

外语教学与研究出版社  
北京

## 图书在版编目 (CIP) 数据

新日语能力考试一次掌握!·读解强化训练·N1 / 杨岫人编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2015.9

ISBN 978-7-5135-6673-5

I. ①新… II. ①杨… III. ①日语—阅读教学—水平考试—习题集 IV. ①H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2016) 第 246466 号

出版人 蔡剑峰  
责任编辑 田秀娟  
封面设计 刘海波  
出版发行 外语教学与研究出版社  
社 址 北京市西三环北路 19 号 (100089)  
网 址 <http://www.fltrp.com>  
印 刷 三河市北燕印装有限公司  
开 本 787×1092 1/16  
印 张 18  
版 次 2015 年 10 月第 1 版 2015 年 10 月第 1 次印刷  
书 号 ISBN 978-7-5135-6673-5  
定 价 35.00 元

购书咨询: (010) 88819929 电子邮箱: [club@fltrp.com](mailto:club@fltrp.com)

外研书店: <http://www.fltrpstore.com>

凡印刷、装订质量问题, 请联系我社印制部

联系电话: (010) 61207896 电子邮箱: [zhijian@fltrp.com](mailto:zhijian@fltrp.com)

凡侵权、盗版书籍线索, 请联系我社法律事务部

举报电话: (010) 88817519 电子邮箱: [banquan@fltrp.com](mailto:banquan@fltrp.com)

法律顾问: 立方律师事务所 刘旭东律师

中咨律师事务所 殷 斌律师

物料号: 266730001

## 编者介绍

杨岫人，广东外语外贸大学教授、博士生导师，全国高校日语专业教学测试专家组专家，中国商务日语研究会副会长。

曾任教育部高等院校外语教材编审委员会委员，第一届和第三届教育部高等学校外语专业教学指导委员会委员，日本国立大阪大学文学部语言专业应用语言学方向招聘教授。

广东外语外贸大学 2006 年评出的十大名师之一，2009 年荣获中国日语教学研究会和《日语学习与研究》杂志社颁发的“杰出贡献奖”。

主要从事日语语法学和日语语音学研究。迄今为止，在国内外学术期刊（核心期刊）上发表了 30 余篇学术论文。已出版的著作有《日语语音学》（专著）、《日语语音语调》（专著）、《现代日语系统语法》、《现代日语语法》、《日语口语辞典》、《最新日汉双解辞典》、《日汉学习小辞典》、《日汉例解常用熟语谚语语词典》及其他编著、译著等共 20 多部。

## 编者说明

日本国际交流基金和日本国际教育支援协会于2009年颁布并实施了新的“日语能力考试”，前面加了“N”，以示新版。新版由原来的四个级别变成了五个级别（中间加了N3），适当提高了N1的难度。其中N1的读解，较之旧版，新增了“统合理解”和“情报检索”，整体难度亦有所增加。

本人多年从事全国性的日语测试研究工作，深知在所有日语测试中，读解题相对较难。如何做好读解题，对于参加日语能力考试的考生而言，显得非常重要。为此，特编写了这本专门应对N1读解题的解题方法辅导书。

本书共收入的读解题有短篇36篇；中篇（内容理解）38篇；长篇中“内容理解”和“主张理解”各15篇，“统合理解”和“情报探索”各12篇。每篇均附有详细的解题方法，可供读者对照阅读。

本书问题部分均用日语编写，按照日语能力考试的方式编排；解题部分则用中文解释。希望考生通过阅读本书，更好地掌握答题方法，在日语能力考试N1考试中考得高分。

这里有一点需要说明，考得高分需要的是日语实力，解答技巧只是帮助你更好地解题，不可能仅仅凭此即可考得高分。

编写本书时参考并引用了如下资料，于此列出，并致谢意！

『標準・客観テスト問題集』，明治書院。

『標準現代文』，桐原書店。

『精選テスト問題集』，明治書院。

『現代文』，日栄社。

『現代文読解法』，有精堂。

『現代国語標準問題集』，受験研究社。

『新試験対応 合格できる日本語能力試験N1』，アルク。

『新版 現代国語テスト問題集』，光村図書出版。

『U-CANの日本語能力試験N1予想問題集』，自由国民社。

『ラスタ一基礎問題集 現代文〔国語〕』，駿々堂。

由于时间所限，错谬难免，敬请不吝指正！

杨岫人 识

于广州白云山麓 广东外语外贸大学寓所

# 目 录

## 第一部 問題編

一 内容理解（短文）	1
1. 筆者の言いたいこと	1
「 一番……1                      二番……2                      三番……2 四番……3                      五番……4                      六番……4                      」	
2. 筆者の主張や考え、意見	5
「 一番……5                      二番……6                      三番……7 四番……7                      五番……8                      六番……9 七番……10                      八番……10                      」	
3. 主題	11
「 一番……11                      二番……12                      」	
4. 問題文の意味や解釈	12
「 一番……13                      二番……13                      三番……14 四番……15                      五番……16                      六番……16                      」	
5. 原因や理由	17
「 一番……17                      二番……18                      三番……18 四番……19                      五番……20                      六番……21 七番……21                      八番……22                      」	
6. 文章内容と表現	22
「 一番……23                      二番……24                      三番……24 四番……25                      五番……26                      六番……27                      」	

二	内容理解 (中文)	28
1.	指示内容	28
	「	
	一番……………28	二番……………30
	四番……………33	五番……………35
	七番……………38	八番……………40
		三番……………31
		六番……………36
		九番……………41
	」	
2.	筆者の考え	43
	「	
	一番……………43	二番……………45
	四番……………47	五番……………49
	七番……………52	八番……………53
		三番……………46
		六番……………50
	」	
3.	筆者の主張	55
	「	
	一番……………55	二番……………57
	」	
4.	原因や理由	59
	「	
	一番……………59	二番……………60
	四番……………64	五番……………65
	七番……………69	
		三番……………62
		六番……………67
	」	
5.	意味、解釈	70
	「	
	一番……………70	二番……………72
	四番……………76	五番……………77
		三番……………74
	」	
6.	主題と表現	79
	「	
	一番……………80	二番……………81
	四番……………84	五番……………86
	七番……………89	
		三番……………83
		六番……………87
	」	
三	内容理解 (長文)	91
1.	解説文	91
	「	
	一番……………91	二番……………94
	」	

2. 論説文 .....	96
┌ 一番.....96          二番.....99          三番.....101	
└ 四番.....103        五番.....105	
3. 随想 .....	107
┌ 一番.....107        二番.....110        三番.....112	
└ 四番.....114        五番.....116        六番.....118	
└ 七番.....120	
4. 小説 .....	122
┌ 一番.....122	
四 統合理解.....	125
1. 記事 .....	125
┌ 一番.....125        二番.....127        三番.....128	
└ 四番.....130        五番.....132        六番.....134	
└ 七番.....135        八番.....137	
2. 投書 .....	139
┌ 一番.....140        二番.....141        三番.....143	
3. 書評 .....	145
┌ 一番.....145	
五 主張理解（長文）.....	148
1. 随想 .....	148
┌ 一番.....148        二番.....150        三番.....153	
└ 四番.....155        五番.....157	



2. 教育 ..... 159

「 一番.....159      二番.....163      三番.....165 」

3. 論説文 ..... 167

「 一番.....167      二番.....170      三番.....172  
四番.....173 」

4. 小説 ..... 175

「 一番.....176      二番.....178 」

5. 書簡 ..... 180

「 一番.....180 」

六 情報検索..... 183

「 一番.....183      二番.....185      三番.....187  
四番.....189      五番.....192      六番.....193  
七番.....195      八番.....197      九番.....199  
十番.....201      十一番.....204      十二番.....206 」

## 第二部 解答編

一 内容理解 (短文) ..... 209

1. 筆者の言いたいこと ..... 209

2. 筆者の主張や考え、意見 ..... 211

3. 主題 ..... 213

4. 問題文の意味や解釈 ..... 213

5. 原因や理由 ..... 215

6. 文章内容と表現 ..... 217

二	内容理解（中文）	218
	1. 指示内容	218
	2. 筆者の考え	224
	3. 筆者の主張	228
	4. 原因や理由	230
	5. 意味、解釈	235
	6. 主題と表現	238
三	内容理解（長文）	242
	1. 解説文	242
	2. 論説文	244
	3. 随想	248
	4. 小説	253
四	統合理解	254
	1. 記事	254
	2. 投書	259
	3. 書評	261
五	主張理解（長文）	262
	1. 随想	262
	2. 教育	266
	3. 論説文	268
	4. 小説	271
	5. 書簡	273
六	情報検索	274

# 第一部 問題編

## 一 内容理解(短文)

所谓“内容理解(短文)”，顾名思义，就是通过仔细研读，充分理解约200字左右的短小文章所要表达的意思。这里所说的意思包含文章作者想表达的及作者的见解等等。

### 1. 筆者の言いたいこと

任何作者写任何文章均有其目的，都不是为了写文章而写文章，他们通过文章表达自己的意愿、想法等。因此，我们研读文章时，切忌被字面意思所左右，而是要把字里行间所隐藏的意思，尤其是作者通过这篇文章想说的意思解读出来。

次の短文を読んで、それぞれ後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

#### 一番

会話や文章の中に外来語や外国語を多用すると円滑なコミュニケーションが妨げられる、という指摘がなされることがしばしばある。「あの人の話は横文字が多くてわかりにくい」などという話もよく耳にする。「分かりにくさ」が個人的な問題で終わる分には害が少ないが、公共施設の掲示や官庁の広報誌、新聞や放送などに多くの人理解できない外来語や外国語が並ぶとなると話は別である。

(山本陽史・佐々木文彦『日本語再入門』より)

問：筆者の言いたいことは何か。

1. わかりにくい外国語を使用すると、新聞や放送などへの信頼性はむしろ薄れる。
2. 会話と情報伝達では外来語を使った円滑なコミュニケーションという意味が違う。
3. 外来語を多く使用した場合、話し手の意見ではなく別の人の意見となってしまう。
4. 公共の情報で外来語を多用すると、理解できないために実害が発生する可能性がある。

**二番**

樂天家の父から、「人は知らず知らずのうちに、最良の人生を選択している」と教えてきました。人生は、色々と枝分かれした分岐点の連続ですが、おのずとその最良の道に向かっている——と。そう考えると、すべてが楽です。目先だけ見ると失敗でも、後で振り返った時、その失敗が成功につながる道あたりする。人生は、近道ばかり行こうとすると、そこに落とし穴があるかもしれない。少し遠回りした方が良いのかもしれない。

(小山薫堂「魂を内に秘めて仕事を」読売新聞 2009年8月30日付「オンの才人オフの達人」より)

**問：**筆者がここで最も言いたいことは何か。

1. 最良の人生を選択するためには、楽天的であることが大切だ。
2. 最良の人生の選択は、目先の失敗から最良につながる道である。
3. 人生の分岐点に立った時、容易な道ではなく困難な道を選ぶべきだ。
4. 今現在の失敗にとらわれず、いつかは成功につながると考えて進むべきだ。

**三番**

議論は漫画やテレビと違い、接してさえいれば自然にその面白さに浸れるというモノではない。読むほう・聞くほうも積極的に関わらなければ面白くない。逆に言うと、一定のテクニックを持つ者しかアクセスできないが、それがわかれば一挙に広大な世界が開ける。この入り口に立てない人はこの豊穡な土地から閉め出されているに等しい。

(吉岡友治『だまされない<議論力>』より)

**問：**この文章で筆者の言いたいことは何か。

1. テクニックだけを知っていれば、議論を豊かにすることができる。
2. 面白い話をする方法を学べば、議論は豊かな生活を築く基礎になる。
3. 積極的に勉強する方法がわかれば、議論にアクセスすることができる。
4. 必要な技術を身につけていけば、議論は大変面白く有益なものである。

## 語句解釈：

テクニック／ [technic] 技術。技巧。

アクセス／情報システムや情報媒体に対して接触・接続を行うこと。

## 四番

才能というのは誰でも同じようにあるわけではないし、勉強の才能がない人がそれ以外の才能を持っているという保証もない。それでも、様々な才能があり得るわけだし、自分の才能を探して、そこで頑張って心楽しくなれる人もきっと大勢いると思う。もちろん、何をやってもダメだということもあり得るわけだし、それは仕方がないことである。重要なことは、自分で自分のやり方を決定し、あまり後悔しないことである。才能があってもなくても、自分なりの規範を見つけ、その中で自足することができれば、人は善く生きられると私は思う。

(池田清彦『正しく生きるとはどういうことか』より)

問：筆者がここで最も言いたいことは何か。

1. 勉強の才能がない人が、自身にほかの才能を見出すことは難しい。
2. 才能のあるなしにかかわらず、自分自身を認め満足できるとよい。
3. 才能は誰にでも同じようにはないが、ない場合はあきらめることだ。
4. 自分の才能を探して努力することで、私たちは善く生きることができる。

## 五番

世の中には、無造作・無反省にことばを使っているように見える人がいる。また正確・緻密にことばを使おうと神経を使っていると思われる人もいるし、相手への心づかいを細かく持ってものを言っているように見える人もいる。わたしなどはかなりことばの使い方に神経を使うほうだと思っている。そのせいか粗雑な使い方のことばを聞いて気になることが多い。できることなら、多くの人々がことばの使い方にもっと神経を細かく行き渡らせるように心がけてほしいと思う。みんながそういう習慣を持つことによって国語はいろいろな面で洗練され、発達するだろうし、また、ことばを通して展開される人間関係もより円滑になっていくであろう。

(大石初太郎「話し言葉」より)

問：筆者が最も述べたかったのは何か。

1. 多くの人々がことばの使い方にもっと神経を細かく行き渡らせるように心がけてほしい。
2. 粗雑な使い方のことばを聞いて気になるようにし、そのようなことばを口にしない。
3. ことばを通して人間関係をより円滑にしていくのはこの世の中がよくなるのだ。
4. ことばは本来、無造作に使うものだから、神経を使うようにするのは無理だ。

## 六番

リンゴの味は何であるかを知るには、リンゴを食うのが先決で、食うということを経験せずに、リンゴの味について語るのは観念の遊びである。古典も同じで、まずそれをみずから読むという実行が基本にならねばならない。これはわかりきったことだが、このわかりきったことが存外一ばん大切なのではないかと思う。とりわけ近ごろは、参考文献と称するものがやたらとふえ、むしろその選択に戸惑いし、それらを追っかけているうち日が暮れ、初心はどこかに蒸発してしまうといった事態さえ珍しくないかに見うけられる。実行よりは観念が、経験よりは知識が重んじられすぎるからである。

(西郷信綱「古典をどう読むか」より)

問：この文章で筆者が述べようとしていることは何か。

1. 古典も、まずそれをみずから読むという実行が基本にならねばならない。
2. 近ごろは、参考文献がやたらとふえ、むしろその選択に戸惑ってしまう。
3. 参考文献を追っかけているうちに、初心はどこかに蒸発してしまう。
4. 実行よりは観念が、経験よりは知識が重んじられすぎるからである。

## 2. 筆者の主張や考え、意見

如前所说，任何作者写文章，都是想通过文章表达自己的意愿、想法等。下面这些文章就是作者通过文章想表达出他对一些问题的看法、见解、意见。

次の短文を読んで、それぞれ後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

### 一番

我々が学問や思想を何とはなしに難しくて近づきたいもの、少なくとも面白みの薄いもののように感じがちだとすれば、その一因は文章にあるのではあるまいか。必読とされる書物が申し合わせたように読みづらい。そしてそういう本の多くが翻訳ものであることも学問を手の届かぬ遠いところへ押しやっているように思われる。もちろん、例外がないわけではないが、その数はあまりにも少ないから、それを無視して言うと、翻訳の文章にはいつも泣かされる。泣いて泣いて涙も出なくなるようになってようやく一人前の読書人になれるのだが、そのころには翻訳文体に抵抗を感じなくなって、今度は他人を泣かせる文章を平気で書くようになる。

問：筆者の主張に合うものは次のどれか。

1. 読みやすい翻訳文章もいっぱいある。
2. 学問の文章は難しく書く必要はない。
3. 翻訳文章を読むならば難しいという覚悟が必要だ。
4. 優れた学者になるために外国語をよく勉強すべきだ。

**二番**

日本人は贈り物が好きだ。贈り物のやり取りを通じて、お互いが同じグループの仲間であることを確認して安心するのだ。企業の方も日本人のこの贈り物好きを利用して、消費者に少しでも多く買わせようとする。そのいい例がバレンタインデーだ。これはある菓子メーカーがチョコレートの販売促進のために始めたのだが、今ではすっかり日本の習慣になっている。この日、職場などであげたりもらったりの大騒ぎをする様子を見ると、バレンタインデーも本来の意味など忘れられた単なる「お祭り騒ぎ」だと言えそうだ。

**問：**筆者の意見に合うものは次のどれか。

1. 日本人はバレンタインデーの本来の意味がわからない。
2. 贈り物はいいがそのやり取りをする時の大騒ぎには閉口だ。
3. 日本のバレンタインデーは商業活動の産物に過ぎなかった。
4. バレンタインデーがなければ、菓子業者の経営は難しくなるだろう。

**語句解釈：**

バレンタインデー／[Saint Valentine's Day] 聖人バレンタインの祝日、二月十四日。古代ローマの異教の祭りと結びついて、(日本では女から男へ)愛の告白や贈り物をする習慣がある。

お祭り騒ぎ／祭礼の時のにぎやかな騒ぎ。転じて、必要以上にむやみに騒ぎ立てること。



## 三番

全国各地の街々には街路樹がある。私は木や森と関わることを職業としているせいもあるが、やはり街路樹がしっかりと植えられている町でないと好きになれない。私でなくとも、読者の中にもそういう人が多いにちがいない。街路樹のよさがその町の品格を代弁する側面がある。街路樹をまったく大切にしない自治体があったとしたら、その自治体にはどこかに欠点があると言ってもいいだろう。

(稲本正『森の自然学校』より)

問：筆者は街路樹はどのようなものだと言っているか。

1. 町全体の品格や雰囲気表れているものだ。
2. 自治体の豊かさの程度が現れているものだ。
3. 住民の森や木への関心の深さを示すものだ。
4. 自治体の自然保護への取り組みを示すものだ。

## 四番

夜の時間におこなう野球その他の試合を「ナイター」と言っている。「デーゲーム」に対して「ナイトゲーム」という言い方も最近よく聞くが、「試合」のことを平気で「ゲーム」と言うようになったのは比較的最近のことではなかろうか。それまでは「ゲーム」と言うと子供の遊びというニュアンスが強かった。だから、真剣勝負の気合いで臨む試合に対して「ゲーム」ということばを使うのは抵抗があったことだろう。

(中村明『センスある日本語表現のために』より)

問：「ゲーム」という言葉について、筆者はどう考えているか。

1. 最近の試合は真剣勝負ではないので、遊びのニュアンスがあっても抵抗がない。
2. 遊びというニュアンスが強いので、使用に抵抗があったのは不思議ではない。
3. 試合は真剣勝負なので遊びのニュアンスが強い言葉を使うべきではない。
4. 子供が遊びでやっているような試合に対してのみ使うべきだ。